

平成28(2016)年

4月1日

第179号 毎月発行

編集 公民館だより編集室

発行 西東京市公民館

毎月第4月曜日は休館日です

西東京市

公民館だより

Welcome to Japanese class!

马上就要开设日语教室了!

일본어강좌가 시작됩니다

にほんごこうざが はじまります!

柳沢公民館 柳沢1-15-1 ☎042-464-8211 kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp

田無公民館 南町5-6-11 ☎042-461-1170 tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp

芝久保公民館 芝久保町5-4-48 ☎042-461-9825 shiba-kou@city.nishitokyo.lg.jp

谷戸公民館 谷戸町1-17-2 ☎042-421-3855 yato-kou@city.nishitokyo.lg.jp

ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 ☎042-424-3011 hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp

保谷駅前公民館 東町3-14-30 ☎042-421-1125 ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp

平成28年度の公民館事業

～公民館は、市民の学びや文化活動、地域活動を支援する教育機関です～

西東京市公民館は、今年4月から運営体制が変わりました。中央館（柳沢）と5つの分館（田無・芝久保・谷戸・ひばりが丘・保谷駅前）という体制から、ひばりが丘公民館が中央館分室となり、中央館と4つの分館、1つの分室で構成される6館体制になりました。これからも、6館が市民の学習・文化活動と交流の拠点となるような運営に努めるとともに、互いに連携しながら人と人とのつながりを大切にしたい地域づくりの視点をもって各種事業を行い、市民の主体的な学びを支えていきます。

公民館の主な事業

学級・講座の実施

公民館だよりの発行

公民館市民企画事業の実施

学習支援保育の実施

学級・講座

平成28年度は、次の3つを大切に学級・講座などの主催事業を企画・実施していきます。

6館体制を生かした主催事業の展開

幅広い年齢層の多様な学習要求に応え、課題解決を支援するために、立地条件や施設の特徴をふまえて各館で主催事業を分担し、中央館を核に6館が有機的に連携しながら実施します。

より多くの市民を視野に入れた取り組み

属性や地域性により公民館活動に参加しづらい市民に配慮し、学習機会の提供方法を工夫します。

重点施策

平成28年度は重点的に次の3つの施策に取り組みます。

障がい者学級のあり方を展望します

くるみ、あめんぼ両学級の現状と課題を整理します。スタッフ、ボランティアの位置づけを確認し直し、研修なども通して集団としての力量形成を図ります。また、障がいがある青年の社会参加の機会を充実させるために増級も視野に入れて方針を明らかにします。

届ける社会教育を実践します

市域南部・市域北部などの公民館から比較的離れた地域で、関係機関の協力を得て、地域住民に学習機会を提供します。

新しい公民館運営体制を構築します

ひばりが丘公民館の分室化により西東京市公民館は新体制で運営していくこととなります。中央館・分館・分室ともに利用者懇談会の拡充と活性化により利用者の意見を反映した運営に努め、市民参加の運営のしくみを検討していきます。

障がい者、外国人、子育て中の保護者などの社会的に制約を受けやすい層や、青年や勤労者など公民館利用の少ない層を対象とした事業を各館で分担して実施します。

館名	対象	対象							
		育児期の女性	子ども	親子	青年	勤労者	高齢者	障がい者	外国人
中央館	柳沢公民館	○			○	○		○	○
	分室 ひばりが丘公民館	○		○					
分館	田無公民館	○					○	○	
	芝久保公民館	○	○				○		
	谷戸公民館	○	○						
	保谷駅前公民館			○	○	○			

公民館の特色を生かした主催事業の組み立て

集い、学ぶことを地域づくりにつなげることは公民館の大事な役割の一つです。公民館の独自性を大切に、関係機関・団体との連携にも努めます。

柳沢 子育て中の外国人女性のための日本語講座 保育付き

柳沢公民館で日本語を勉強する講座がはじまります。

幼い子をもつお母さんも勉強できます。お母さんが勉強している間、子どもたちは、保育室で友達と遊びます。

時 5月13日～3月10日
毎週金曜日10時～12時

※夏休み・冬休みがあります。

場 柳沢公民館

対 西東京市に住んでいる子育て中の外国人女性

定 15人（申込順）

保 6か月から小学校に入るまでの乳幼児12人（1歳未満は3人程度）

¥ おやつ代は1回50円

申 柳沢公民館へ来てください。

電話やFAX、メールでも受け付けます。

電話：042-464-8211

FAX：042-464-8212

メール：kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp

“Japanese course for foreign mothers who are bringing up children” (a nursery is available)

Yagisawa Kouminkan will hold the Japanese course for foreign mothers who are bringing up children.

◆ Schedule : Every Friday 10:00-12:00

◆ Place : Yagisawa Kouminkan

◆ Application : You can apply directly, or contact us by fax or e-mail.
Telephone 042-464-8211 (Japanese only)
Fax number 042-464-8212
E-mail kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp

面向外国人の日本語講座招生

时间：毎週星期五 上午 10:00 ~ 12:00

地点：柳沢公民館

【特色】

欢迎带着幼儿的母亲参加。孩子可以在保育室跟小朋友们一起玩耍，母亲可以安心的学习。当然，也可以一个人参加。

【咨询方式】

柳沢公民館
邮箱：kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp

外国人を 위한 일본어강좌 참가자 모집

시간 매주금요일 오전 10시부터 12시
장소 야기사와 공민관

어린자녀가 있는 엄마들을 환영합니다. 엄마가 공부하는 동안 아이들은 보육실에서 친구들과 함께 놀 수 있습니다.

물론 보육시설을 사용하지 않고 혼자 공부하기 위해 참가하실 수 있습니다.

문의는 야기사와 공민관으로 연락해 주세요.
이메일 kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp

写真で見る いまむかし

田無駅北口に映画館があったころ



田無銀映(1966年ごろ・北多摩郡田無町本町四丁目29番) 西東京市中央図書館地域・行政資料室所蔵



現在の田無町四丁目29番付近

かつて田無駅北口に映画館があったことを、ご存知ですか。戦前の「田無銀映」が前身の「田無東映」と昭和31年開館の「田無文化」、「田無銀映」の3館です。「田無東映」は昭和41年、他の2館は昭和45年に閉館しました。
今回紹介するのは、昭和41（1966）年ごろ撮影された「田無銀映」の写真です。